

討論資料 No. 1

。誓約書の持つ意味

昨日付で解送された封書にありて保証人と違ふて「提案  
受けざる意志があるが、在りか」と前々に質問紙が居いた  
れは我々の作主、その旨投書ボイコットを、事实上踏破し  
うとする軌道であり大学側の自製策動である、青藤学部長  
下理工学部長校長は、一擧一年の政策に於いてその方針を  
り成功を博めており、理工二部方式とは生産方式を本邦政  
にしたものである。我々は生産、津田退校を監獄と笑、  
いたが、我々自身の上にも誓約書として又より強固な物と  
て現れ、これにより理工学部二、三年にも同じ方式がこれ  
のは確定である。

我々は精力を持たない、だから連帯が必要である。しか  
この誓約書とは我々個人を共に拘束された個體であり、連  
まくずこうとするものである。これに立向うには我々のよ  
速い連帯が必要ない。もし我々がこれをやうなれば我々は  
校十名の処分者を出すであらうし又二年間監獄の中で「学  
しをいれればなるもの。

。我々の行動

我々の行動としてオーストリアに上げられるが誓約書の提出を  
拒否することである。しかしこれには味生質又大々改り連帯が  
ければできない。教育大に於いてはこの書法が成功し少款  
否が提出したにすぎなかつたが、我々日本大学の学生諸君に  
まずこれは無理であらう。

そこをオーストリアとして實質的にこれを無意味にしていくこと  
ある。我々は入学時に誓約書なる物をとられたいすが、現  
これは意味をなしものない。これを見てもわかるように、  
存在物としての性質個體に、しかもない。又これを實質上  
意味をなさないようにしよう。

この意味大学側でも承ん何か認る前に処分を出すであらう。又  
我々の表面に出るはけようにし、連帯を無くし、大々改り我  
自主的に投書ボイコットの行なうように行動を転回しよう。

我々は今、連帯が不要である、より強固な連帯を!